

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成24年度第8回定例会会議記録
開催日時	平成24年11月28日（水曜日） 午後6時30分から8時40分まで
開催場所	田無公民館 第二学習室
出席者	委員：上田悟司、大島眞之、千葉佳子、畠山昭裕、須磨田純子、馬場真由美、加藤真理、渡辺文子、福島憲子、中曽根聡、西原みどり、萩原建次郎、新藤浩伸 職員：相原館長、大平主幹、川口館長補佐、小笠原分館長、長谷部分館長、平井分館長、石川分館長
欠席者	委員：上田悟司
議題	1.平成24年度第7回定例会の記録について 2.報告事項 1 行政報告 2 公民館だより編集室報告 3 都公連委員部会運営委員会報告 4 利用者懇談会報告 5 第50回東京都公民館大会について 6 公民館運営審議会委員研修について 3.事業計画書・事業報告書について 4.協議事項 5.事務連絡及び情報交換
会議資料の名称	1 平成24年度西東京市公民館運営審議会第7回定例会の開催について（通知） 2 平成24年度第7回定例会会議録 3 利用者懇談会報告10月 各公民館 6件 4 平成24年度公民館主催事業計画書 7件 1 障がい理解する講座（田無） 2 地域で創る教育ネットワーク講座 青少年と地域」（芝久保） 3 地域安全・安心講座（谷戸） 4 谷っ戸子やってみ隊 子ども料理講座「大豆ご飯と魚料理にチャレンジ！」（谷戸） 5 青年対象事業 ボサノバを歌おう（ひばりが丘） 6 いじめに立ち向かう（保谷駅前） 7 自分で修理して快適な暮らしを DIY（Do It Yourself）を楽しむ（保谷駅前） 5 平成24年度公民館主催事業報告書 9件 1 乳幼児を持つ母親のための講座「輝く生命をつなぐ・ナチュラルママ」（谷戸） 2 性講座「しなやかに、したたかに生きる」（保谷駅前） 3 キッズアカデミー 縄文体験編（柳沢） 4 科学の本とあそび講座 楽しい実験から理科読も身につけよう！（ひばりが丘） 5 歴史探訪&健康増進講座（柳沢） 6 自然の色を楽しもう！ ウールを染めて小物づくり（柳沢） 7 講演「公民館と地域コミュニティ」（田無） 8 地域を考える講座「公民館で学び活動すること」 公民館ってどんなところ？（芝久保） 9 第30回芝久保公民館まつり・公民館主催講座「インドネシア伝統舞踊」（芝久保）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
傍聴者	<input type="checkbox"/> 有り（人） 無し
会議内容	

1.平成24年度第7回定例会の記録について（承認）

2.報告事項

1 行政報告

12月定例議会 陳情

市主催の事業に係る交通整理について

特に市民まつり、谷戸まつりに車等で来場する市民に対して、交通誘導をする指導員の配置や警察などの協力強化を今以上に行い、状況を解消すること。

来年度の公民館職員定数削減案（一次案）について

保谷駅前、谷戸、ひばりが丘公民館の正規職員計3名の削減が提示された。12月末に第二次案が提示される。

・第二次案で、職員3名減に対し、復活する可能性はあるのか。しっかり一次案のうちに交渉してほしい。公民館存続の危うさが心配である。

→今後、交渉を予定。

・削減計画は

当初の計画では、25年度は保谷駅前公民館、26年度谷戸、ひばりが丘公民館であった。

・今後の分館運営体制は

→正規職員は、分館長のみ、他は週4日勤務の公民館専門員となる。

・削減される正規職員の減を専門員で担うことによる負担や課題は。実際の現場での様子は。

基本的には、すでに職員が削減された田無、芝久保公民館では機能しているが、今後は利用者に判断していただくことにもなると思われる。

・分館に対して、本館である柳沢公民館は協力体制をどのように考えているのか。

24年度田無、芝久保公民館各1名の職員削減により、柳沢公民館に1名の職員増とし、そのサポート体制をとった。

・西東京市は公民館職員を大切にしているのだろうか。公民館専門員の負担は増加するし、職場には本来正規職員1名体制はあってはならないと思う。

・私たち委員が今後できることは、協力していきたい。

2 公民館だより編集室報告（以下「・」は委員発言、「 」は職員回答）

・詳細は添付の報告書のとおり。

主な意見

・1面にやはり芝久保公民館まつりの記事をPRしてほしいとの市民の声が出た。

・2面3面の見開きに、川柳コーナーで投稿者の名前が紙面に掲載されているが、今までは掲載がなかった。どのような経過で掲載したのか。また、本人に掲載の了解は。

・また、川柳の文字が大きすぎるため、本来の記事が目立たないようだ。

→社会通念上、作品と名前は一緒であり、編集会議の中でも共有化していると思っていた。よって、審議会で報告しなかったし、編集会議でも明確な確認はしなかった。さっそく、作品の作者には連絡をしたい。次号からは、了解を得る手続きをしていきたい。

・1面は、公民館が何をしているところかをPRする紙面にしてはどうか。強力なアピールの手法として、今後検討してほしい。

・まつりの記事であれば、プログラムではなくまつり等の主旨や市民の関わり方や動きを市民に知らせていくものだと考えてみてはどうだろうか。

・1面は講座企画のPRより、公民館としての存在意義をトップに掲載したほうが良いと思う。

・市民の方が、講師からだけではなく、他の市民から学ぶことの大切さを伝える紙面が良い。

3 都公連委員部会運営委員会報告等

・10月6日に第2回研修会が国立公民館で、39人の参加で開催された。講師は小笠原田無公民館分館長

・回収アンケート32枚。良かった29人、その他3人

・全体的に好評だった。

・実践例は地域課題であると思ったとの意見が多く出された。

4 利用者懇談会報告

別紙資料

訂正箇所

- ・芝久保公民館…年度：（誤） 2011年 、（正） 2012年
- 参加者：（誤） 職員5人 、（正） 職員6人
- ・谷戸公民館…連絡事項等の記事：（誤） 回収 、（正） 改修

補足

- ・ひばりが丘公民館…旧機械室は、防災備蓄倉庫とすることに決定。

参加委員の感想と質疑

田無公民館

・利用者懇談会と講演会の開催が繋がっていたため、時間の制約もあり、会での自己紹介の時間や話し合いの時間が短かったのが残念。

○保谷駅前公民館

- ・例年、利用者同士が相手を攻める意見が多かったが、今回はどうだったか。
→今年も同様の傾向であった。
- ・エレベーターの放火事件もあって、その後の関連の利用制限について何か意見があったか。
→具体的に、セキュリティの問題を報告した。利用者同士が予防の目になろうとの意見も出された。

○ひばりが丘公民館

- ・市民交流施設とは何かの意見が市民から多く出されていたが、関連で公民館はどの回答として教育施設と答えていくと堅苦しい傾向がある。利用者同士の中でお互い、公民館はどのようなところかを話し合っていく必要があると感じた。
- ・いい職員がいるのが公民館、いい職員がないのが市民交流施設と言えるのではないか。
- ・芝久保公民館の講演会で片野先生の言葉が印象的だった。2つのタイプの公民館の紹介。ただ賑やかな公民館、ただ忙しい公民館。学んだことを地域の課題に取り組んでいる公民館。

3. 事業計画書・報告書について（「・」は委員質疑・意見、「」は職員回答）

1 事業計画書について

障がいを理解する講座（田無）

- ・昨年柳沢公民館での障がいを理解する講座は座学中心であったが、今回はその改善に努め、次の活動、展開に繋げていくプログラムになっている。
- ・他館をも視野に入れ、当講座が主催されたことは、素晴らしい。現在、障がいを持つ家族が疲弊している現状の中で、この取り組みを公民館で実施する意義は大きい。なお、行政の福祉部門では、公民館の障がい者関係の事業活動が認知されていないと思っている。福祉では、一時的に彼等を預ける場所が地域にないことが問題。他館にも繋げて、ぜひ当事業を成功してほしい。
- ・6館を視野に入れた視点に感激した。地域には、ボーダーラインの障がいの方々、多様なタイプの方々がいる。
- ・実施時間は
→午前10時から正午

地域で創る教育ネットワーク講座「青少年と地域」（芝久保）

- ・地域の関係団体は具体的にどこを想定しているのか。
地域で子ども対象に活動している団体、子ども劇場、おやおやクラブ、ユメコラボの登録団体。
- ・育成会は、
毎年、声かけをしている。

地域安全・安心講座（谷戸）

- ・参加する方を、育成会、民生員、学校の先生などに参加呼びかけをしてほしい。
了解。

開催日時でなぜ、第3回目が1か月も離れているのか。毎週連続して開催し、参加者のリズムを作ったほうがよいのでは。

内容としては、3回目の危機管理室の話の内容を初回に開催してはどうか。

→市の地域防災計画が3月に改定される予定だと聞いているので、その時期にあわせた。

・防災関係も公民館だけですべて実施、完結するのではなく、関係部署との連携も考えてほしい。また、学校との連携も必要。

いじめに立ち向かう（保谷駅前）

・具体的な講座の流れを教えてください。

弁護士であり、教育相談をしている講師を招いて、親同士の繋がりや具体的な行動を学んでいく予定である。

・その手法は。

グループワークも行うと思う。

テーマとPRの仕方の工夫が必要と思われる。また、回数もすべてを完結するのではない仕掛けも含めて考慮してほしい。

・この企画文の中に、学校の文字が入っていない。やはり、「学校」の視点も考えてほしい。

・テーマからして、働いている市民、保護者を考慮して土曜、日曜日の開催を検討してほしい。

2 事業報告書について

第30回芝久保公民館まつり・公民館主催講座「インドネシア伝統舞踊」（芝久保）

・まつりを見学した。多くの世代間交流が行われよかったと思われる。

4. 協議事項

東京都公民館大会の確認 12月9日（日曜日）「プログラム参照」

東村山の公民館で実施する。

西東京市が第一分科会の運営を担当 現在135人の参加予定

（テーマ：3.11東日本大震災以後の以後の公民館の役割 地域・きずな）

助言者：月刊社会教育谷口編集長、事例報告：石井山・東北大学准教授、須磨田委員

企画運営委員：小笠原分館長（田無）、千葉委員、保谷専門員（柳沢）、塩谷専門員、伊勢専門員（芝久保）、山本専門員（谷戸）、山田専門員（ひばりが丘）、高山専門員（保谷駅前）

5. 事務連絡及び情報交換

西東京市公民館運営審議会委員研修

12月19日：研修会 新藤浩伸先生を講師に決定

第9回定例会 12月19日（水曜日） 午後6時30分から 田無公民館 第二学習室